

## 昭和50年度暫定予算など81件議決

### 大都市税財政制度確立など

### 五特別委員会設置

二月定例会は、二月二十七日に開会し、三月十三日に閉会しました。

## 2月定例会



今定例会に提出された議案は、市長提出の「昭和五十年北九州市一般会計暫定予算」をはじめ六十八件と、議員提出の「私学助成措置に関する意見書」をはじめ特別委員会の設置、農業委員の推せんなど十四件です。

いずれも慎重に審議され、市長の提出した六十八件の議案は、原案どおり承認又は可決、議員の提出した十四件の議案は、うち十三件を可決、一件を否決しました。

このほか、任期満了に伴う常任委員の改選、特別委員会の設置に伴う委員の選任、一部事務組合議会議員の補欠選挙を行いました。

(委員等氏名は後掲)

### 決まった

### おもなもの

#### 市長提案

○昭和五十年北九州市一般会計、普通特別会計(二十二会計)、企業会計(四会計)の暫定予算

四月から六月までの必要な経費

一般会計五九一億七二〇〇万円

特別会計二八九億九七四四万円

企業会計 八二億七八〇九万円

合 計九六四億四七五三万円

○昭和四十九年度北九州市一般会計、特別会計(十二会計)、企業

会計(二会計)の補正予算

総額百二十三億六千八百十五

千円の減額補正を行うもの。

○北九州市民健康保険条例の一部改正

保険料賦課限度額を十万円から

十二万円に改正するもの

○北九州市奨学資金条例の一部改正

奨学金の貸付金額を、月額六千

円以内を八千円以内

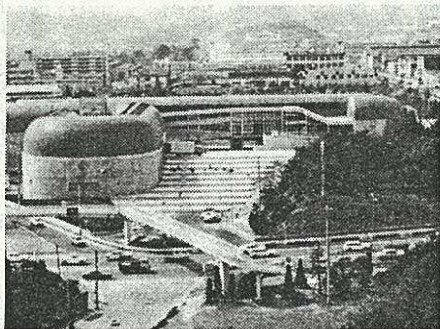
入学資金の貸付金額を、大学・

大学院に入学を許可された者五万

円を六万円に、高校・高等専門学

校に入学を許可された者三万円を

四万円にそれぞれ引き上げるもの



落成した中央図書館

○北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

中央図書館等の新設に伴い、関係規定を改めるもの

暫定予算とは、特別に事由が生じたとき、年間の予算が決まるまでの間、行政の中断を防ぐため暫定的に年度内の一定期間(通常一か月から三か月間)に必要な経費を組んだ予算をいいます。

#### 議員提案

○私学助成措置に関する意見書  
公立学校と私立学校の教育条件には著しい格差があり、特に授業料などについては、ますます格差が増大する傾向にあるところから、抜本的な私学助成策を講じ、父母負担の軽減、格差是正を図るよう関係行政庁に要請するもの

○石油タンク等危険物貯蔵施設の安全に関する意見書  
石油タンク、高压ガスタンクなどの危険物貯蔵タンクの安全体制の確立をはかるため、関係法の抜本的改正を行うよう関係行政庁に要請するもの

○地方財政危機打開と地方自治権拡充に関する意見書  
地方自治体が直面しているインフレと不況、総需要抑制に伴う財政危機を打開するために、当面の措置として超過負担解消のための特別措置をはじめ、特例交付金の交付と交付税率の引き上げ、起債

わくの拡大などを講じるとともに、国と地方自治体間の行政の再配分などに直ちに着手するよう関係行政庁に要請するもの



# 質疑応答



三月五日から二日間  
本会議で七人の議員が、  
議案に対する質疑や市  
政に対する一般質問を  
行いました。  
その中から主なもの  
を取り上げました。

## 大幅減額補正と

### 今後の財政見通し

議員 今議会に昭和四十九年度  
の補正予算を提案されていますが、  
その内容は、一般会計、特別会計  
を合わせて、実質百六十二億八千  
万円余りもの大幅な減額補正とな  
っております。これは、当初、予  
算を編成するとき、市債、地方交  
付税などの財源を過大に見積もつ  
ていたためではありませんか。

また、福祉行政をはじめ公営住  
宅の建設、教育施設の整備など市  
民生活に直接関係の深い事業費が  
大幅に減額されていますが、これ  
らの減額は、事業を打ち切るとい  
うことですか。

市長 減額補正を行うことにな  
りましたのは、国の総需要抑制策  
が、予想外に長引いたこと、土地  
買収の難航、その他、事業を執行  
するための態勢が整わなかったこ  
となどからです。しかし、今振り  
返ってみて、当初において強気な  
予算を組みすぎたということの非

議員 難は、甘んじて受けなければなら  
ないと思います。  
また、減額補正した事業につき  
ましては、このまま事業を打ち切  
ったわけではありません。  
事業の完成時期が、ずれてまい  
りましたことは非常に遺憾ですが  
年度を越してすぐ完成する事業に  
つきましては、再び暫定予算に計  
上し、事業の着手が遅れたものに  
ついては、新年度予算に取り上げ  
てまいりたいと考えています。  
議員 昭和五十年年度の予算に計  
上義務付けられる債務負担行為  
の額は、一般会計、特別会計を合  
わせて、二百十九億円にもなりま  
す。今後の財政見通しについて  
どのように考えていますか。

市長 昭和五十年年度の本格予算  
を、六月議会にお諮りしますので、  
その際に今後の財政見通しを説明  
いたしますが、非常に苦しい予算  
となることはまちがいありません。

議員 職員の外研修を一年間  
取りやめるのははじめ、人件費、  
物件費などの節約に努め、市民に  
対する福祉行政は、後退させるよ  
うなことはいいたしません。

議員 現在響灘埋立て事業が進  
行しておりますが、この埋立地に  
市はどのような企業を配置する計  
画ですか。

市長 まず第一に優先して考え  
ておりますのは、市内既存企業の  
移転先です。この企業が、公害の  
防除や設備の更新を行う際、現在  
の場所から移転を必要とするとき  
は、響灘の埋立地をお願いするこ  
とにいたしております。次に市内  
の産業構造を改善するに役立つ企  
業の誘致を考えています。

議員 国道一九九号線の若松区  
内は、朝夕のラッシュ時、交通が  
著しく渋滞しています。特に競艇  
開催日においては、マイカーが増  
加するため全くマヒ状態となって  
おります。このほか、響灘に埋立  
て用の廃土を運ぶダンパカーの繁  
華街通行などもあり、早急に区内  
交通網の整備が必要です。

議員 このことについて市はどのよう  
な対策をたてていますか。

建設局長 ローターリ周辺の変  
通渋滞の原因は、車両通行が若戸

### 響灘埋立地の活用

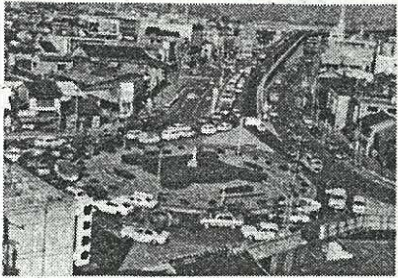
議員 大橋の容量を越えているためです。  
したがって、ロータリーの改  
造、信号の取りつけなど道路公団  
や警察と検討していますが、とり  
あえず、ロータリーを通る車の交  
通量を軽減するために、パイパス  
をつくることを考え、本町一沖田  
線、南海岸通り一外町線の子算を  
組み、地元と協議しています。

また、一九九号線の渋滞緩和を  
はかるために、修多羅一竹並線を  
幅員十六メートルで計画決定して  
いますが、ルートが山腹を通過して  
いますので、防災、風致、経費等  
の問題、そのうえ、総需要抑制とい  
うこととすぐに実現することは困  
難な状況です。

議員 響灘に廃土を運ぶダンパカーの  
路線として、外町一小石線を幅員  
二十五メートルで改良しており、  
また、幹線十二号線の一部も舗装  
し、五十年度は、これをさらに延  
ばしていくつもりです。  
ダンパカー等は、できるだけこ  
れら広い幅の道路を通るように指  
導してまいります。

### 若松区内の交通渋滞

#### 解消について



若松区ロータリー周辺

議員 公・私立の較差是正を  
幼稚園

議員 私立幼稚園の保育料や入  
園料は、昭和五十年年度大幅に値上  
げされ、入園対象児を持つ家庭に  
とっては、大きな負担となってい  
ます。このままで進みますと、公  
立と私立との保育料などの差は、  
ますます開きます。

市長、私立幼稚園などの保育料  
の値上げに対して、どのような対  
策をとっていますか。

これを解消するについては、公  
立の増設か、私立への助成の拡大  
しか方法はないと思いますが、幼  
児教育に対する市の方針を含め答  
弁してください。

教育長 私立幼稚園の保育料な  
どの値上げの原因は、諸物価の高  
騰、とくに人件費の増によるもの  
です。教育委員会としては、私立  
幼稚園連盟を通して、値上げをし  
ないよう申し入れしました。

今後の幼児教育について、公立  
の増設か助成の拡大かと二者択一  
的に言われてもそのような考えは  
もっておりません。

北九州市には、すでにかなりの  
私立幼稚園がありますので、これ  
らを含め学区単位にその配置な  
ど、個別に検討する必要があります。  
私学援助の拡大については、国  
県に要請してまいります。市が  
行っている就学援助についても検  
討を加えていきたいと思っていま  
す。



# 請願と陳情

=採択されたもの=

## 請 願

- ・横断地下道の設置について
- ・南小倉貨物駅用地への児童公園の設置について
- ・足原小学校の特別教室増築について
- ・徐行標識の設置について（八幡西区東鳴水4丁目）
- ・山陽新幹線トンネル工事による陥没補償について（小倉北区朝日ヶ丘地区）
- ・飼料製造工場の移転について（門司区松ヶ江北校区）
- ・反射鏡の設置について（小倉南区葛原寺迫三友団地の出入口）
- ・障害の早期発見と早期治療について
- ・引揚者住宅の建替計画について（戸畑区西大谷）
- ・交通安全標識の設置について（八幡東区八王寺地区）
- ・年末特別融資の枠の拡大について
- ・精神薄弱児養護学校の建設について
- ・春ヶ丘学園の整備等について
- ・発達医療センターの建設について
- ・河内線道路の拡張について
- ・架橋建設について（八幡東区大蔵第三区）
- ・下水溝のふたかけについて（八幡西区木屋瀬下町）

## 陳 情

- ・公園用地の取得について（小倉北区藍島）
- ・公害小企業団地の設置について
- ・ガードレールの設置について（八幡西区陳ノ原5丁目）
- ・若松消防署支署の設置について（若松区小石校区）
- ・遠賀一市四町衛生組合し尿処理場の悪臭について（八幡西区浅川向田地区）
- ・排水溝の整備及びガードレール設置について（八幡西区本城碓地西）
- ・水道本管の設置について（若松区原町）
- ・採石場設置反対について（小倉南区大字頂吉）
- ・電話架設の促進について（小倉北区藍島）
- ・第二塔野小学校新設について
- ・公民館の建設について（小倉北区富野中学校区）
- ・国道322号線東谷地区早急着工について
- ・保健所分室の設置について
- ・200号バイパスの建設促進について
- ・筑豊インターチェンジの名称変更について
- ・城山地区住民の移転早期実現について
- ・ゴミ収集回数増加について（小倉北区室町商店街）
- ・水道本管の布設について（小倉北区高峰町）
- ・電話架設について（小倉北区西港町）
- ・九州鍼灸専門学校設立反対等について
- ・手話奉仕員養成事業委託金の増額について
- ・VTR（テレビ録画・再生装置）の購入について
- ・市立障害福祉センターの機能充実について
- ・児童公園用地の買い上げについて（小倉南区湯川）
- ・校舎改築について（戸畑区沢見小学校）

### 石油タンクの事故防止

議員 水島コンビナートにおける重油大量流出事故を契機に、全国的に石油タンクの総点検が行われております。北九州市においても不等沈下しているタンクが三基あると聞いておりますが、その対策はどのようにしておりますか。

消防局長 一万キロリットル以上の巨大タンクで基準以上に不等沈下しているものは三基あります。この三基については、企業に対し、できるだけ早急にタンクをからにして専門的検査を行い、不良箇所があれば直ちに修復し、不等沈下についても是正するよう既に指導いたしております。

企業においてもこの指示に従い直ちにタンクをからにして、近々内部を洗浄して専門的検査を行うよう計画しております。

既に計画書も提出されており、この検査の際には消防局も立会います。

### 空気清浄器設置校の学習条件改善を

議員 空気清浄器が設置されている教室は、常に窓を閉めていないと清浄器の効果を保つことができません。このため夏は暑く、冬は冷風が吹き出て寒いし、清浄器の騒音も学習条件を乱しております。

早急に冷暖房の設置を含め、学習環境の改善を図る考えはありますか。

教育長 必要とする教室についての清浄器の設置は、おおむね計画どおり終わりました。今後は、ご指摘のありました点を含め、いろいろの問題点について、大気の汚染状況を考えながら、学校関係者、専門家とともに再検討していく考えです。

### 老人福祉と身障者福祉

#### 医療費無料化など

議員 市長が選挙で公約された六十歳以上の老人医療費無料化や、老人の市営バス無料化はいつから実施するのですか。また西鉄のバス・電車においても同様な扱いをするよう西鉄と折渉する考えはありますか。

市長 老人医療費無料化の対象を六十五歳以上に速やかに拡大したいと思っておりますが、財政事情等を十分には検討しなければなりません。しかし、五十年度には対象年齢の拡大を、何らかの形で手をつけるつもりです。

五十年度にどの程度実現するかという点につきましては、本予算に計上し、六月定例会でお諮りしたいと思っております。

老人の市営バス無料化につきましては、五十年度には実現したいと思っております。

#### 介護見舞金

議員 重度身障者のおられる家庭では、本人はもちろん家族の方もたいへんな苦勞をされていると思っております。

北九州市においても介護見舞金の制度はありますが、他の政令都市に比べてみて、まだ十分ではありません。見舞金の増額や支給対象の拡大など、制度の改善をする考えはありますか。

市長 北九州市の介護見舞金制度に似た制度が、五十年度から国の制度として発足する予定です。この制度との関連を考慮しつつ、本市の制度改善を検討したいと思っております。

#### 油症患者対策

議員 カネミ油症やスモン病患者の団体に対し、援助をする考えはありますか。

市長 患者の団体に対する訴訟援助は考えていません。しかし、訴訟に対する法律問題についての相談制度を設けます。



# 常任委員会名簿

◎委員長 ○副委員長

総務財政委員会 (11人) 欠員1	民生水道委員会 (11人)	公害衛生委員会 (10人)	経済港湾委員会 (11人)	建設交通委員会 (11人)	文教建築委員会 (10人)
企画局, 総務局, 人事局, 財政局, 秘書室, 広報室, 会計室及び消防局の所管に属する事項 他の常任委員会の所管に属しない事項	民生局及び水道局の所管に属する事項	公害対策局, 衛生局, 清掃事業局及び病院局の所管に属する事項	経済局, 港湾局及び農業委員会の所管に属する事項	建設局, 下水道局, 交通局及び失業対策室の所管に属する事項	建築局, 教育委員会及び北九州大学の所管に属する事項
◎久保等衛 ○陣矢博文 戸町武夫 増田哲夫 田中富彦 安野口研一 田川長佳 舌間正記 明石清彦	◎那波公明 ○柳田国憲 平山政智 鷹木行雄 中川寿シ 蔵野原廣志 下賀政一 古野村一郎 細川政勝 清水昭	◎樋上静雄 ○大野松次 松尾武勇 大庭武人 花田岱輔 山本一義 上島幸吉 重田寿昭 井上莊光 本莊光宏	◎塚内浩之 ○白石照義 渡辺俊雄 田中武夫 城戸武治 渡辺清治 古賀卓司 佐々木郁夫 大坪嘉夫 服部静夫 松本静夫	◎吉田浩明 ○安藤正直 宮本直武 中島利治 野中誠男 久保利義 岡田隆勝 坂内勝郷 上野博郷	◎山脇昭 ○佐々木順 浜田典綱 海江本井 徳新近松 中野村依村 木村依村

# 特別委員会名簿

◎委員長 ○副委員長

大都市税財政制度確立特別委員会(14人)	鉱害対策特別委員会(11人)	都市交通・新空港対策特別委員会(13人)	都市再開発対策特別委員会(14人)	物価物資問題対策特別委員会(11人)
大都市税財政制度・確立について 国有施設の取得促進について	炭鉱鉱害地区の復旧開発について	モノレール小倉線黒崎線の建設について 新空港の建設について	市街地の再開発について 住工分離の促進について	物価安定及び物資確保に関する諸施策の推進について
◎新井勝美 ○田川長直 宮本保等 久保直道 中島武人 花田武人 中陣矢博 安藤正夫 大坪郁昭 井野上村一 野明石清彦	◎安田富彦 ○坂田尾隆 松庭武夫 大城利一 和上綱幸 徳重幸昌 中村昌政 細川政勝	◎平山政智 ○古賀清浩 吉田俊雄 渡辺本輔 山野中誠 久賀利男 古野政吉 樋上静一 塚本内庄光 山内庄光	◎鷹木行雄 ○近松資武 戸町中武 田中武夫 海江田義明 白那波昭 山脇国憲 柳服部嘉夫 舌松本正静 清水昭	◎田中覚 ○岡田義信 浜田順治 佐々木哲夫 増蔵野廣 下大野松 佐々木依村 野木依村

**議員の紹介**

就任 清水 昭(八幡西区)  
昭和五十年二月九日執行の北九州市議会議員補欠選挙で当選

辞職 鍛冶 清(小倉北区)  
昭和五十年一月十九日一身上の都合により辞職

□全世帯配布 □編集 北九州市議会事務局

□印刷 双羽印刷株式会社(八幡西区)

新任、留任をあわせ、農業委員等に就任している市議会議員の氏名は次のとおりです。(敬称略)

堀川水利組合議会議員 近松資憲

笹尾川水利組合議会議員 和田利治 徳本綱方

直方市・北九州市岡森用水組合議会議員 渡辺俊雄 海江田典夫

北九州市門司区農業委員会委員 宮本直道 久保等衛 中島 武 那波公明 安藤正之

北九州市小倉北区農業委員会委員 佐々木 野中 誠

北九州市小倉南区農業委員会委員 渡辺譲治 下原廣志 山脇 昭 野口研一 塚内浩之

北九州市若松区農業委員会委員 大庭 勇 花田武人 城戸武夫 田川長佳 野依勇武

北九州市八幡東区農業委員会委員 戸町 武 野村一郎

北九州市八幡西区農業委員会委員 鷹木行雄 山本岱輔 古賀清治 安田富彦 中村昌雄